

日本機能水学会 第13回学術大会

産業を創る、生活を守る、機能水

大会長：五十部誠一郎（日本大学生産工学部 教授）

水は人々の生活に欠かせないモノであり、その水を機能化することで、より安全に、より豊かに、人々が暮らせる技術が創り出されています。これらの機能水を製造する技術がまた産業を活性化してきました。機能水の取り組みとして当初から研究開発が行われてきた農業分野においても、長年の審議を経て、酸性電解水が、特定農薬として認可されました。このような歩みを再確認し、さらに、いろいろな分野での産業創成や生活支援技術としての展開を語る場にしたいと考えております。今回も、多くの方の参加をお願い申し上げます。

会期：2014年10月18日(土)、19日(日)

会場：家の光会館 7F コンベンションホール（JR 飯田橋駅 徒歩5分）

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 TEL: 03-3260-4791

参加費：会員 8,000円（事前 6,000円）、非会員 12,000円（事前 10,000円）、学生 3,000円（事前 2,000円）

事前はいずれも10月3日まで

交流懇話会：10月18日夕 飯田橋レインボービルC会議室(1F) 参加費 6,000円（事前 4,000円、10/3まで）

参加費等振込先：ゆうちょ銀行 00160-5-68045 または 三井住友銀行 目黒支店 普通 1225185

口座名はいずれも「日本機能水学会学術大会」 *お振込みの際には、参加者名を明記してください。

一般演題締切：2014年9月1日(月)まで。申込要領は次頁をご覧ください。

主催・共催：日本機能水学会・機能水研究振興財団、ウォーター研究会、関西ウォーター研究会

後援：日本口腔機能水学会、アルカリイオン整水器協議会、微酸性電解水協議会、日本医療・環境オゾン学会ほか
協賛：韓国水学会、電気化学会電解科学技術委員会、日本食品工学会、フード・フォーラム・つくばほか

基本プログラム(セッション案)：更新情報は、日本機能水学会および機能水研究振興財団のホームページに随時掲載
飲用アルカリ性電解水(基礎・応用)、酸性電解水(標準化：機器・医療・歯科・機能水技術認定制度など)、
各種機能水(オゾン水等：基礎・応用)、一般演題(基礎、医療・歯科・介護・公衆衛生、食品など)、CKJ国際会議

* 大会企画セッション：「農業分野での機能水の役割と期待(仮題)」

- 特別講演： ① 安達修二 京都大学農学部教授(日本食品工学会会長) 亜臨界水関係
② 栄長泰明 慶應義塾大学工学部教授 ダイヤモンド電極関連
- 教育講演： ① 佐藤 勉 (日本歯科大学東京短期大学教授) 口腔健康と電解水(仮題)
② 谷井 潤郎 (公益財団法人 塩事業センター) 塩に関する基礎知識(仮題)
③ その他

お問合せ：日本機能水学会 TEL: 03-3495-0251 FAX: 03-5435-8522 E-mail: kinousui-gakkai@fwf.or.jp

